

〔酒食論〕飯室律師好飯申様

もちる色々に、やよひもはじめのわか草は、ち。こは、このくさもちる、手づくりからにいたる
けや、かはらぬ色の松もちる、千代とぞ君をいのりける、

〔古名録〕野草十四ち、こくさ躬恒集 漢名天青地白本質問

按に酒飯論云、其後もちる色々に、やよひもはじめのわか草は、ち、こは、このくさもちる、手つ
くりからにいたるけやトミユ、然レバチ、コ草ヲモモチトナセシ也、チ、コ草ハハ、コ草ニ同
シテ瘦タリ、鼠麴草ノ類也、

苦菜

〔本草和名〕十八 苦菜、一名茶草、楊玄操音徒、一名選、一名游冬茗、一名茶、一名苦識、似茗、已上四 蘆出陶景注、茶

音一名苦菜、蘇敬注曰、苦菜會、途一名苦菜、非者類、陶景大誤、苦識、敬曰、此龍葵也、亦非茶、南植草出崔 茗菜、一名翹搖草、出七卷 和名

爾加奈、一名都波比良久々、佐。

〔倭名類聚抄〕十七茶 爾雅注云、茶音途、和名、苦菜之可食也、於保都知

〔伊呂波字類抄〕於植物附植物具、茶ホトチ、苦、菜之可食也、

〔和爾雅〕七 菜、ニガナ 苦菜、茶、苦、莖、天、香、菜、並、同、又、云、苦、菜、朱子曰、芭、今之苦、賈也、

〔重修本草綱目啓蒙〕十九 苦菜、柔滑、ウシアザミ、ノゲシ、キツネノタバコ、和州、タンボ、筑前

ムマゴヤシ、讚州、コマシタゲ、江州、コマビヤシ、信州、益、能州、ケンナグサ、和漢三才
略

秋月子生ズ、葉ノ形薊葉ニ似テ刺ナク、白色ヲ帶テ罌粟葉ノ如シ、青莖アリ、紫莖アリ、俱ニ中空ク
シテ五稜アリ、莖葉ヲ切レバ白汁ヲ出ス、春ニ至テ苗ノ高サ二三尺、葉互生ス、葉間ニ枝又ヲ分チ、
上ニ多ク花ヲ開ク、チサノ 蒿苳花ニ似テ黄色、罷時ハ小長子多ク、莖中ニ聚リ、上ニ白絮アリテ、タンボ 蒲公英絮
ノ如シ、子熟スレバ風ニ隨テ飛ブ、其苗根共ニ枯ル、